

HACHI

令和4年 6月8日
八代市立第八中学校
学校だより 第3号
文責：校長



Harmony (調和)・Action (行動)・Challenge (挑戦)・Happiness (幸福)・Innovation (創造・革新)

災害に備える ～地域に貢献できる力も～

地震や台風、豪雨など、ここ数年日本各地で災害が続いています。梅雨入りを前に5月19日(木)の全校集会では防災担当から話をし、災害に対する備えについて生徒達に考えてもらいました。特に宮地校区は川や水路が流れており、水害に対する備えが大切になります。気象や避難に関する情報を収集し、ケースごとの避難について確認をしました。地震や台風を含め、どのような時にどのように行動するかを日頃からご家庭でも話をいただければと思います。

翌週の5月25日(水)は八中の卒業生でもある八代広域行政事務組合消防本部の市村太郎様をお招きし、心肺蘇生法やAEDの使い方を学びました。初めての生徒がほとんどでしたが、しっかりと話を聴きながら貴重な体験をすることができました。自分の命を守ることはもちろんです。加えて、八中生には緊急時や災害時に的確な判断や行動ができ、周りの人たちを助けたり、地域の安全に貢献したりできる力も身に付けていって欲しいと願っています。

大雨 集中豪雨 河川氾濫

パターン 3 安全な場所へ移動

水平避難

垂直避難

時間に余裕がある場合は、近隣の避難先ではなく「川から離れ、より安全な場所」へ避難すること。

激しい降雨や浸水により屋外での避難行動が困難な場合は、浸水による建物の倒壊の危険がないことを確認し、自宅や隣接建物の2階以上へ避難すること。

宮地小(3階) **八中2階**



学ぶ意味を考える ～納得解を求めて～

「何のために学ぶのか？」と問われたら何と答えますか。「高校に進学するため」「仕事に就くため」「将来のため」「自分のため」「家族のため」・・・どれも正解で、答えは無数にあります。この問いに「絶対解(限定された正解)」はありません。あるのは「納得解(納得する解答)」だと思います。

以前は「勉強」という言葉が一般的でした。試験等に合格するために知識を暗記することに重点が置かれていました。しかし、急速なスピードで変化社会では必要な知識に加えて、答えのない問いに対して情報を集めたり、周囲と協力したりしながら最適な答えを見つけていくことが大切になります。前述の災害も近年は予測がつかない状況の中でいかに備えるかを考え、その時点で最適な答えを導き出していかなくてはなりません。数十年前はなかったパソコンやタブレット、スマートフォンやネット環境をいかに有効活用し、トラブルを回避していくかも明確な答えがあるわけではなく、機能が発展する中で変化に応じていく必要があります。

つまり、「学ぶこと」は未来のために準備をしていくことではないかと考えます。「学び」は一生涯続きますし、欠かすことはできません。学校では「学ぶこと」の練習をしていると捉えてみてはどうでしょうか。教科や領域によっては好き嫌い・得手不得手もあるでしょう。しかし、これらは食事と一緒に全てが自分のための「栄養」になります。前向きに取り組み、チャレンジしていく姿勢が大事です。来週からは期末考査も始まります。様々な問いに対して解答できる準備をしておいてください。



孔子の論語には「学び」について「学而時習之。不亦説乎。有朋自遠方来。不亦楽乎。人不知而不愠。不亦君子乎。」と書かれています。「習ったことを、機会があるごとに復習し、身につけていくことは、なんと喜ばしいことでしょうか。」とされています。学ぶことは喜びです。



先日、地域の方からこんな話を伺いました。「横断しようとしている中学生がいたので車を停止したところ、深々とお辞儀してくれました。礼儀正しい中学生だと感心しました。」とのこと。このような八中生が育っていることを嬉しく思います。家庭教育、そして地域の方の温かい眼差しに感謝です。

